

【B】 18. 運行記録計

運行記録計の装着を義務付けられている車両は、次のとおりです。

- (1) 車両総重量が7トン以上または最大積載量が4トン以上の普通自動車である事業用自動車
- (2) 車両総重量が7トン以上または最大積載量が4トン以上の被けん引自動車を牽引する牽引自動車
- (3) 特別積合せ貨物運送に係る運行系統に配置する事業用自動車(運行車)

※記録計による記録の保存期間は1年

＜運行記録計の活用方法＞

- (1) 運行記録計により運行状態の分析を行い、業務員の指導に活用
- (2) 運行記録計と乗務記録を確認しながら、速度・距離・時間、及び休憩等に無理がないかどうかを調べ、必要に応じて指導
- (3) 制限速度を超えた者、運行速度に著しくムラがある者については、注意指導
- (4) 運行記録計装着の義務付け車両で、高速道路走行における制限速度を超えた者については、速度抑制装置に問題が生じているおそれがあるので、運転者と車両のチェック
- (5) 過労運転を防止するために、1日当たりの拘束時間の点検と休息期間が適切であるかチェック

【チェックポイント】

- ・運行記録計の装着を義務付けられている車両全てに、装着していますか？ ☐
- ・運行記録計の記録をチェックされてますか？ ☐
- ・運行記録計の記録を1年間保存していますか？ ☐

項目判定

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 適 | <input type="checkbox"/> 否 |
| <input type="checkbox"/> 該当しない | |

※配置している車両全てが、「装着義務車両」でない場合は「該当しない」